

B-GROOW

NewsLetter

Message From SORA

B-GROOW (ビーグロウ) の空でございます。

木々の緑が深まる時期になりました。

この度、弊社では新たな取り組みとして「ビズストーム®」を取り入れ「経営を体感する」研修を始めることになりました。さまざまなビジネスゲームがありますが、「ビズストーム®」は難しい数字を扱わないため、誰にでも取り組むことができるゲームになっています。

こちらのニュースレターでも「ビズストーム®」の体験会についてご案内しておりますので、お目通しいただけますと幸いです。

さて、今年は例年になく早い梅雨入りとなりました。沖縄よりも九州南部が先に梅雨入りしたのは1976年以来49年ぶりのことだそうです。恵みの雨ではありますが、梅雨明けのカラッとした夏空が待ち遠しいですね。

熱中症対策の義務化 -2025年6月1日施行-

労働安全衛生法の改正により、6月1日より「**熱中症対策の義務化**」がスタートいたしました。梅雨入り前から、各地で真夏日を記録している日本列島ですが、本格的な夏が到来する前に、熱中症対策について考えてみませんか。

■ 熱中症が最も発生するのは“7月”

熱中症は、「高温多湿な環境下で、体温調節機能がうまくいかなくなり、体内の水分や塩分バランスが崩れることで発症する障害のこと」をいいます。総務省消防庁の令和3年～令和6年の調査結果によると、熱中症で救急搬送された患者数は、年間として“7月”が最も多い結果となりました。急激な気温上昇に対して、体が順応していないことがその一因とされています。

厚生労働省は、7月を熱中症の重点取組期間として位置付けています。今の時期からの対応が急務と言えます。

■ 義務化の内容について

6月からの法改正により、**熱中症が発生するおそれがある作業**を行うとき、**熱中症のおそれがある作業**者を早期に見つけ、その状況に応じて迅速かつ適切に対処することが可能となるように、あらかじめ対策を講じることが求められます。

<熱中症が発生するおそれのある作業とは？>

「WBGT(暑さ指数)が28度以上または気温31度以上の作業場において、連続1時間以上または1日あたり4時間を超えるの実施」が見込まれる作業。

※WBGTは環境省「熱中症予防情報サイト」で数値公表中



Vol.63

空 直美



<熱中症のおそれがある作業とは？>

分 類	症 状
I 度(軽度)	めまい、失神、筋肉痛、手足のしびれ 等
II 度(中等症)	頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感 等
III 度(重症)	意識障害、痙攣、手足の運動障害、高体温 等

■ 求められる対策とは

(1) 体制整備

熱中症の自覚症状のある作業員、または熱中症のおそれがある作業員を見つけた者が、その旨を報告するための体制を事業場ごとにあらかじめ定めること。

(2) 手順作成

作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送など、熱中症の重篤化を防止するために必要な措置の実施手順を事業場ごとにあらかじめ定めること。

(3) 関係者への周知

体制整備と実施手順について、関係作業員に周知すること。朝礼やミーティングの場、会議室や休憩所等への掲示、メールやイントラネットでの通知等。

■ おわりに

ここ数年、年間30人以上の方が熱中症による労働災害で亡くなっています。その要因として、初期症状の放置や対応の遅れが指摘されています。今回の法改正では、罰則付きの義務として位置付けられることとなりますので、早急にご対応をお願いいたします。

(チーフコンサルタント 久保 京子)



必要性が高まる「言語化」

最近、「言語化」が重要であると言われており、実際に言語化についての書籍も多く出版されています。今回は、言語化について考えます。

■ 言語化とは

言語化とは、自分の考え・感情・意図・経験・気づきなどといった目に見えない内面の情報を、他者に伝わる言葉として表現することです。

■ 言語化の必要性が高まった背景とは

日本は、世界一の「ハイコンテクスト文化＝言語依存度が低い文化」だといわれています。つまり、言語化しなくても通じてしまう、通じやすい文化ということです。しかし、最近は言語依存度が高まってきました。これには以下のような背景があります。

1. 多様性の時代になったこと

価値観や考え方、働き方が多様になり、「空気を読んでもらう」「察してもらう」だけでは伝わらないことが増えました。自分の考えや感情を言葉で明確に伝える必要性が高まっているといえます。

2. オンライン化の影響

直接会って話す機会が減り、文章やチャットでのやりとりが増えています。そのため「顔を見ればわかる」「雰囲気を読む」が使えず、言葉にしないと伝わらない状況が増加しています。

3. 心理的安全性やコミュニケーションスキルへの注目

組織内で「心理的安全性」の重要性が注目され、対話や説明が求められるようになっていきます。また、ハラスメントに対する意識も高まり、「あいまいな表現」や「察してくださいという文化」がリスクとなる可能性が高まっています。

■ 言語化できている状態とは

では、言語化とはどのようにすればよいのでしょうか？ 言語化できている状態とは、「誰が聞いても理解できる形で、具体的な言葉に落とし込んでいる状態」をさします。

言語化はビジネスシーンでも役立ちます。例えば、「ミスを減らす工夫をする」を、「作業完了後、毎回、チェックリストを使用して確認を行う」と表現するなどです。目標設定を行う際にも、言語化を意識することで、行動への落とし込みや進捗確認をする際、格段に取り組みやすくなるはずです。

■ おわりに

いかがでしたでしょうか。「察する力」「阿吽の呼吸」という日本の文化も大切にしながら、これから必須となる「言葉にして伝える力」を鍛えていきたいものです。（アソシエイトコンサルタント 平田 千佳）

株式会社 B-GROOW

〒813-0017

福岡県福岡市東区香椎照葉3-3-1-2825

TEL 092-405-2769 FAX 092-405-3579



人事担当者の皆さまへ

株式会社B-GROOW ビジネスゲーム研修 ビズストーム®体験会を開催します！

経営を疑似体験できるビジネスゲーム
ビズストーム® を お得に体験しませんか？

日 時：6月27日(金) 13:00～17:00

場 所：福岡商工会議所

参加費：お一人さま 5,000円

(※教材費込み、税別)



Q. ビズストーム®とは…？



A. 経営を模したビジネスゲームです。

参加者ひとり1人が経営者となってそれぞれ会社を1社経営します。**限られた資金や資源をもとに、研究開発やマーケティング、競合との駆け引きなど、実際のビジネスに近い意思決定を行います。**ひとりの経営要素を体験することで、**ビジネスの全体像を学び視座を高めることができます。**



Q. どのような場面で活用できますか？



A. 例えば！！

新入社員…仕事の仕組みを体感的に理解

中堅社員…視野を広げ自律的に動くきっかけ作り

管理職…リーダーシップ・マネジメント力の向上

経営者や後継者…戦略策定トレーニング

チームビルディングなど様々な場面で活用できます！

今ならお席の準備が可能です！！



お申込みはこちら

下記URLまたは右のQRコードからお申込みいただけます。



<https://share.hsforms.com/1V9KxXB41QqKTMaHo9WbsYg4h5vi>

編集後記

「暑熱順化(しよねつじゆんか)」という言葉をご存じですか？ 身体が暑さに慣れることをいい、暑熱順化がすすむと、発汗量や皮膚血流量が増え、熱放散がしやすくなり熱中症になりにくい状態になります。週5日程度のウォーキング(30分)やストレッチ(30分)・ジョギング(15分)、2日に一度湯船につかるなどで暑さに慣れることができるようになるそうです。熱中症対策に、暑くなる前に「暑熱順化」を始めてみてはいかがでしょうか。

(編集担当 香月裕美)

Mail sora@b-groow.com

HP <https://www.b-groow.com>